

経 由

議 長



政務活動費交付請求書

令和6年5月9日

四日市市長

会 派 名 政友クラブ

代表者氏名 川村 幸康

四日市市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第4条第1項の規定に基づき、
令和6年4月分政務活動費の交付を次のとおり請求します。

1 請 求 額 474,859円

2 政務活動費の対象となる経費

区 分	金 額	備 考
調 査 研 究 費	419,940	視察（東京、横浜）
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	2,200	書籍
要請・陳情活動費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	52,719	コピー機カウント, Wi-Fi 使用料
合 計	474,859	

※概算払・前金払がある場合は、備考にその別を記載すること。

経理責任者



内 訳 明 細

令和6年4月分 No. 2

森

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	4, 0 5 0	Wifi 使用料 (4 月分)
合 計	4, 0 5 0	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

支 払 証 明 書

支 払 金 額	百万 十万 万 千 百 十 円 4 0 5 0
内 訳	
支 払 年 月 日	令和6年5月9日
支 払 先	エディオン
支 払 事 由	Wifi使用料
領 収 書 を 徴 し な かった 事 由	クレジットカード払いであり、領収書が発行されないため、

上記のとおり支払いしたことを証明します。

会 派 名 政友クラブ

代表者氏名 川村幸康

◎対象経費

(単位:円)

項目		内容	金額
【UQmobile】	基本料	WiMAX+5Gプロバイダー料金 ※割引込	4,400
		サービス基本料	330
	その他	ユニバーサルサービス料	2
		W5スタート割	-682
合計(税込)			4,050

■ 注意事項

・「エディオン/100満ボルトカード決済割引」、「クレジットカード決済割引」対象の場合でも割引適用前の料金が表示されます。

利用年月	合計金額	特記事項	
2023/11月分	¥4,689	※エディオン/100満ボルトカード支払により左記金額から¥220割引	明細
2023/12月分	¥4,689	※エディオン/100満ボルトカード支払により左記金額から¥220割引	明細
2024/01月分	¥4,689	※エディオン/100満ボルトカード支払により左記金額から¥220割引	明細
2024/02月分	¥4,688	※エディオン/100満ボルトカード支払により左記金額から¥220割引	明細
2024/03月分	¥4,688	※エディオン/100満ボルトカード支払により左記金額から¥220割引	明細

[戻る](#)

トップに戻る

利用料金明細表示

利用年月	合計金額	特記事項	
2024/03月分	¥4,688	※エディオン/100満ポルト カード支払により左記金額から¥220割引	
No	明細	金額(税込)	特記事項
1	サービス基本料	¥330	
2	WiMAX+5Gプロバイダー料金	¥4,620	※エディオン/100満ポルト カード支払により左記金額から¥220割引
3	ユニバーサルサービス料等 (WiMAX+5G)	¥2	
4	W5スタート割(最大25ヶ月割引)	¥-682	
5	端末補償サービス(UQ)月額料金	¥418	

戻る

内 訳 明 細

令和6年4月分 No. 5

川村

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	4,287	Wifi 使用料
合 計	4287	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

支 払 証 明 書

支 払 金 額	百万	十万	万	千	百	十	円
			4	2	8	7	
内 訳							
支 払 年 月 日	令和 6 年 4 月 11 日						
支 払 先	+ ソフトバンク株式会社						
支 払 事 由	ポケットWi-Fi						
領 収 書 を 徴 し な かつ た 事 由	クレジットカード払いであり、領収書が発行されないため						

上記のとおり支払いしたことを証明します。

会 派 名 政友クラブ

代表者氏名

川村 幸康

◎対象経費

(単位:円)

項目		内容	金額
手数料		請求書発行手数料	200
【Y!mobile】	基本料	Pocket WiFi プラン2(ベーシック)	3,696
	その他	ユニバーサルサービス料	2
合計(税抜)			3,898
合計(税込)			4,287

Summary of your Charges

限 內 金 銀

内訳金額(円)	税区分
---------	-----

「ユニバーサル・サービス」第31回では、(1)「平成26年事業協会のHPをご確認ください。https://www.ica.or.jp/」と更新月々の活動之内容についてはMy Yimobileの活動内容欄より確認ください。
 (2)他「情世」から「消費者」人々の問題等も確認ください。三経連経団連財界の取組は旧投票者で確認して下さい。

「ユニエニティ・ピース・プロジェクト」について、1) 宮城県造形芸術家協会のHPをご確認ください。https://www.ica.or.jp/ ※更新月々の各種ご契約内容についてはMy Yimobileの契約内容重宝よりご確認ください。
その他「信託のかかり方」や「信託の仕組み」など、お気軽にご相談ください。お気軽に信託対象の取引は信託専業を適用しています。

内 訳 明 細

6年4月分 No. 12
オキズ

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	1,008	ノト、替芯
合 計	1,008	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

セブン-イレブン
四日市諏訪町店
三重県四日市市諏訪町4番9号

電話：059-351-3553 レジ#2

事業者登録番号T1810557517956
2024年04月01日(月) 09:16 責058

領収書

ジェット多色長持替芯0.7黒 125
エコキャンパスノート細書ノ4B
@198x 3 594
エコキャンパスノート普通書ノ4A 198

小計(税抜10%) ¥917
消費税等(10%) ¥91
合計 ¥1,008
(税率10%対象 ¥1,008)
(内消費税等10% ¥91)
クレジット支払 ¥1,008
お買上明細は上記のとおりです。

クレジット売上票
(お客様控)

ご利用日 2024年04月01日
会員番号 [REDACTED]
支払方法 1回IC 承認番号 004392
金額 ¥1,008
APL名 VISACREDIT
AID A0000000031010
伝票番号 240-401-231-5608



セブン-イレブン
四日市諏訪町店
三重県四日市市諏訪町4番9号

電話：059-351-3553 レジ#2

事業者登録番号T1810557517956
2024年04月01日(月) 09:16 責058

領収書

ジェット多色長持替芯0.7黒 125
エコキャンパスノート細書ノ4B
@198x 3 594
エコキャンパスノート普通書ノ4A 198

小計(税抜10%) ¥917
消費税等(10%) ¥91
合計 ¥1,008
(税率10%対象 ¥1,008)
(内消費税等10% ¥91)
クレジット支払 ¥1,008
お買上明細は上記のとおりです。

クレジット売上票
(お客様控)

ご利用日 2024年04月01日
会員番号 [REDACTED]
支払方法 1回IC 承認番号 004392
金額 ¥1,008
APL名 VISACREDIT
AID A0000000031010
伝票番号 240-401-231-5608



uni
JETSTREAM

油性ボールペン芯
油性ボールペン芯
油性ボールペン芯

SXR-ML-07

0.7mm

インク色

黒

ユニバースのボールペンと
互換性があります。
ユニバースは、筆跡のある
二重線コードから確認
下さい。

インク70%増量
長持ちリフィル

※日本製筆芯

KOKUYO PENCIL CO., LTD.

A 普通用紙

ノ-4AN

KOKUYO

Campus | A 7mm-30x 40x

Campus | B 6mm-35x 40x

Campus | B 6mm-35x 40x

Campus | B 6mm-35x 40x

内 訳 明 細

6 年 4 月 分 No. 8
全派

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	419940	4/9~4/10 横浜東洋視察
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	2200	書籍代
要請・陳情活動費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	43374	コピー機・カウン代
合 計	465,514	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

第6号様式(第4条関係)

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	政友クラブ							
参加者氏名	川村 幸康							
用務先	横浜市・東京							
実施日	令和6年4月9日 (火) ~ 令和6年4月10日 (水)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿泊料
4/10	四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円	2 日 (3,000 円/日)	甲地方
	名古屋 ~ 東京	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		1 泊
								(15,900 円/泊)
4/11	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		乙地方
	名古屋 ~ 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円		泊
	~	KM		円	円	円		(14,900 円/泊)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				14,280 × 1 14,280 円	× 0 円	10,480 × 1 10,480 円	6,000 × 1 6,000 円	15,900 × 1 15,900 円
合 計				46,660				

※精算

	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

第6号様式(第4条関係)

(調査研究、研修、要請・陳情活動、会議) 旅 費 明 細

会 派 名	政友クラブ							
参加者氏名	笹岡 秀太郎・伊藤 嗣也・荻須 智之・上 麻理・笹井 絹予・日置 記平 森 康哲・森川 慎							
用務先	横浜市・東京							
実施日	令和6年4月9日 (火) ~ 令和6年4月10日 (水)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路線	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
4/10	四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円	2 日 (3,000 円/日)	甲地方 1 泊 (15,900 円/泊) 乙地方 泊 (14,900 円/泊)
	名古屋 ~ 新横浜	337.2 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		
4/11	新横浜 ~ 東京	36.7 KM	JR	円	円	円		
	東京 ~ 名古屋	366.0 KM	JR	6,380 円	円	4,720 円		
	名古屋 ~ 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	円	520 円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				14,280 × 8 114,240 円	× 0 円	10,480 × 8 83,840 円	6,000 × 8 48,000 円	15,900 × 8 127,200 円
合 計				373,280				

※精算

	運 賃	特別料金	特・急料	日 当	宿 泊 料
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

視 察 研 修 報 告 書 (1)

令和 6 年 4 月 22 日

視察日時	令和 6 年 4 月 9 日(火) 13:30~15:00
視察者氏名	政友クラブ 川村幸康
視 察 先	神奈川県横浜市
説 明 者	横浜市 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
目的	横浜 JAZZ PROMENADE の企画・運営を本市で開催する YOKKAICHI JAZZ FESTIVAL を比較検討し、本市の施策に活かすことを目的とした。
内容	横浜 JAZZ PROMENADE は毎年秋に開催される日本最大級のジャズフェスティバルで、「街全体をステージに」をコンセプトに 1993 年に開始された。横浜市にとって JAZZ は大切な文化資源として位置づけられており、市民が一体となって創り上げる文化活動となっている。現在まで来場者数の延べ数は 270 万人数え、協賛企業は延べ 3 千超える。
所感・感想	「横浜 JAZZ PROMENADE の運営手法について」 会派視察として 9 名が参加した。第 1 日目の視察に際して他の 8 名とは別行動にて現地(横浜市)公益財団法人横浜市芸術文化振興財団様に向かったが生憎開催時間に間に合わず、後刻三重テラスにて視察内容のレクチャーを受けることとした。 レクチャーの内容から感じたことを以下の通り報告する。当事業は、業貿易センタービル内に事務所を構える横浜市芸術文化振興財団が事業展開されており、四日市市でも同様の音楽イベントである「四日市ジャズフェスティバル」の運営手法と横浜 JAZZ PROMENADE の運営手法の比較検討から議論を深めたことに意義があると認識する。横浜 JAZZ PROMENADE は 1993 年に「街全体をステージに」の合い言葉のもと、例年 10 万人を越える来客者があるとのことで、昨年で 30 周年と、その永い歴史と積み上げた経験が貴重な財産として今日の事業の隆盛に繋がってきていると認識した。 市民が一体となって展開されるイベント運営には一日の長があり、本市における継続したジャズフェス開催に向けての大きな指針ともなる運営方法には学ぶべき視点が多い。 市補助は 100 万円ほどとのことであるが、企業からの力強い支えが大きく補助額のみでは判断の出来ない横浜市からのサポートが、活きたイベントの展開へと繋がっていることは容易に推測することが出来た。 説明の中で特に注目したことは市民ボランティアの活用であり、「横浜ジャズクルー」として公募をし、毎年 300 名を超える公募ボランティアが横浜 JAZZ PROMENADE の運営の土台を支えていると報告を受けた。歴史の積み重ねで育んだ市民との連携が素晴らしい施策へと繋がった良い施策と感じたところである。 事前の会派勉強会に於いて事前研修を行ったが、本市におけるジャズフェスティバルの今後の推進策は市民と一体となった取り組みの醸成に尽きると感じた。 三重テラスに於いては今回の視察行程には組み入れてはなかったが、夕食を三重テラスレストランで取ることとしたことから運営総括監の荒川健氏と三重テラス班長の水野加奈子氏からご挨拶をいただき、首都圏営業拠点の物販スペースを視察させて頂いた。

視 察 研 修 報 告 書 (1)

令和 6 年 4 月 10 日

視察日時	令和 6 年 4 月 9 日(火) 13:30～15:00
視察者氏名	政友クラブ 笹岡秀太郎
視 察 先	神奈川県横浜市
説 明 者	横浜市 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
目的	横浜 JAZZ PROMENADE の企画・運営を本市で開催する YOKKAICHI JAZZ FESTIVAL を比較検討し、本市の施策に活かすことを目的とした。
内容	横浜 JAZZ PROMENADE は毎年秋に開催される日本最大級のジャズフェスティバルで、「街全体をステージに」をコンセプトに 1993 年に開始された。横浜市にとって JAZZ は大切な文化資源として位置づけられており、市民が一体となって創り上げる文化活動となっている。現在まで来場者数の延べ数は 270 万人数え、協賛企業は延べ 3 千超える。
所感・感想	「横浜 JAZZ PROMENADE の運営手法について」 新年度に入り第 1 回目の会派視察となった今回の視察企画・運営は、荻須議員ならびに森議員の 2 名にサポートとして上議員・笹岡が担当した。近鉄四日市駅を 9:20 発、名古屋駅を 10:23 発ののぞみ 86 号で新横浜に向かった。新横浜から在来線を利用し石川町に向かった。 横浜中華街にて昼食の後、徒歩で公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団に向かう。当財団は産業貿易センタービルに 1 階に事務所を構え、町の中心部に位置する施設となっている。 6 階の会議室にて公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団業務執行理事の鈴木敦様から歓迎のご挨拶の後「横浜 JAZZ PROMENADE の運営手法について」お話を伺った。横浜市は jazz の街として有名であり、横浜 JAZZ PROMENADE は 1993 年に「街全体をステージに」をコンセプトに例年 10 万人を越える来客者があり、昨年で 30 周年を迎えた。本市におけるジャズフェスの規模は昨年で 10 周年、来客数は 3 万 2 千人であることから横浜市の事業が大きく展開されている事に驚きと音楽文化の深さを感じた。横浜 JAZZ PROMENADE の運営内容を見ると企業からの寄付が多くを占める。市補助は 100 万ほどで、本市の補助金交付額 120 万円と比較すると企業の理解が深い施策となっていることがうかがえる。ただ、職員が各企業に賛助の御願いに回るとのことであり、ご苦労もあるのだと感じたところであり、四日市花火大会の運営にも通じるところで有るのではないかと感じたところである。特筆すべきは市民ボランティアの活用であり、「横浜ジャズクルー」として公募をし、毎年 300 名を超える公募ボランティアさんが横浜 JAZZ PROMENADE の運営の土台を支えているとのことで、市民が一体となった歴史ある素晴らしい施策と感じた。運営の構成団体も多彩であり YOKOHAMA 本牧ジャズ祭実行委員会・横浜ジャズまつり実行委員会・港南 JAZZ フェスティバル実行委員会を始め商工会議所・青年会議所など 11 団体が力強く推進されている。本施策は横浜市が日本のジャズ発祥の街として、また国際港都にふさわしいイベントとして広く周知され、市民とミュージシャンが一体となり街の活性化や集客にお大きく寄与していることに感動し、本市におけるジャズフェスティバルも大きく育ってゆく事を願い視察を終えた。視察終了後、在来線にて宿泊地の永田町 全国町村会館ホテルに向かった。三重県雇用経済部首都圏営業拠点の三重テラスに夕食を兼ねて訪問。運営総括監の荒川健氏と三重テラス班長の水野加奈子氏からご挨拶をいただき、三重テラスレストランにて夕食。1 階の物販スペース、2 階のフリースペース等を視察しホテルへと向かった。

調査研究、研修 報告書

R6年 4月 20日

実 施 日 時	6年 4月 9日（火） 13時 30分～ 15時 00分
参 加 者 氏 名	日置 記平
用 務 先	神奈川県横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
対 応 者	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 業務執行理事経営企画グループ グループ・グループ長 鈴木敦
目 的 ・ 内 容	1925年に伊勢崎町気楽座にてジャズが日本で初めて響いた横浜で、長年続くジャズプロムナードの運営状況を視察し、四日市市のジャズ・フェスティバルの参考にする。こちらは市や財団の主催ではなく、実行委員会型式での取り組みであり、企画運営している実行委員会は1991年以来30年以上継続している。横浜市は大きな予算を割いて支援しているのではなく、これほど大規模なフェスティバルを効率よく運営し、多くの参加者数を維持している手法を学ぶ。
成 果 ・ 所 感	市の協賛金が100万円と意外と少額であり、主たる収入を協賛企業からの850万円の寄付金と、演奏者の@千円の参加料の合計200万円によって賄い、財政的な独立性を保っている。他のグッズ販売による収入と三菱地所から支援も頂いている。 ボランティアスタッフを維持するために、「ボランティアもお客さん」なる考え方を基本にしている。催しの内容は、ホール、ライブハウス、路上での街角ライブであり、アマチュアバンドからも参加料を徴収している。プロの演奏家の報酬には行政からの支援金を支出できないので360万円の赤字で、これを独立行政法人日本芸術文化振興会からの400万円の助成金で埋めている手法は評価できる。ライブハウス等の参加企業は商業目的ではないのも素晴らしい。実行会側が全てのライブハウスの動向を把握しているものでもないが、市民、演奏者、スタッフ、ボランティア全てが、この行事には好意的かつ協力的であり、良い関係を維持している。こちらの10万人の入れ込み客数に対し、四日市市の3万人は規模的には上出来と、お褒めの言葉を頂き、四日市市のジャズ・フェスティバルが成功している事を認識し、その運営に大いに参考になった。

資料別添付

調査研究、研修 報告書

R6年 4月 18日

実 施 日 時	6年 4月 9日（火） 13時 30分～ 15時 00分
参 加 者 氏 名	荻須智之
用 務 先	神奈川県横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
対 応 者	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 業務執行理事経営企画グループ グループ・グループ長 鈴木敦
目 的 ・ 内 容	四日市市のジャズ・フェスティバルが手本とする、ジャズ発祥の地横浜市のジャズプロムナードの運営状況を視察する。企画運営している実行委員会は30年以上継続しており、実行委員会型式での取り組みを視察した。今後の四日市ジャズ・フェスティバルの運営の参考とする。
成 果 ・ 所 感	四日市市のジャズ・フェスとは歴史と規模が違うが、特徴は行政からの財政支援が小さい事である。協賛企業からの寄付金、参加料によって、財政的に独立性を保ち「ボランティアもお客さん」なる考え方を基本に、運営スタッフのボランティアを上手く維持しており参考になった。基本的に、ホール、ジャズ・ライブハウス、街頭での街角ライブで構成され、アマチュアバンドからも参加料を徴収するところが特徴である。行政からの支援金は、プロの演奏家の報酬には支出できず、関係する民間企業、音楽関係業者とは良い関係を維持しているが、その収益を保証しているわけではない。どちらかと言えば、ジャズ・ライブハウスにプロムナードへの参加をお誘いしても、全てから返答がある事は無く、実行会側は全てのライブハウスの動向を把握しているものでもない。しかし、市民、演奏者、スタッフ、ボランティア全てが、この行事には好意的で、協力的である。10万人の入れ込み客数に比べて、四日市市の3万人は規模的には上出来と、お褒めの言葉を頂いた。四日市市では今後、街角ライブを充実させることと、県内では中勢地区で盛んなマーチングバンドを招待して、参加者の広域化も図るべきではないかと、感じた。開催期間中に再度訪問して視察したい。（※別紙の抄録参照）

資料別添付

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R6年 4月 15日

実 施 日 時	6年 4月 9日（火） 13時 00分～ 16時 30分
参 加 者 氏 名	森 康哲
用 務 先	神奈川県横浜市
対 応 者	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 業務執行理事 鈴木 敦
目 的 ・ 内 容	横浜市のジャズプロムナードを企画運営をしている実行委員会をしさつして、ジャズ発祥の地、横浜市の実行委員会型式での、継続して取り組む手法を視察した。
成 果 ・ 所 感	横浜市はジャズ発祥の地として、1925年7月1日伊勢佐木町の期楽座という芝居小屋で、日本初のジャズ音楽が流れたのがはじめであるという説明があり、戦後、高度経済成長期と通じ夜を楽しむ街横浜に似合う音楽として愛されてきた。1991年に財団法人横浜市文化振興財団と横浜jazz協会が設立され準備に取り掛かり、翌年氷川丸でプレイベントを開催ののち、1993年横浜JAZZ PROMENADEを開催し、市内14か所ある文化施設や街角などでの開催を、民間手法を取り入れながら、継続して開催している。本市においても、ジャズフェスタの継続手法に役だつと感じた。

資料別添付

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R6年 4月 12日

実施日時	6年 4月 9日（火） 13時 00分～ 16時 30分
参加者氏名	伊藤 嗣也
用務先	神奈川県横浜市
対応者	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団・業務執行理事 鈴木 敦
目的・内容	横浜市のジャズプロムナードを企画運営をしている実行委員会をしさつして、ジャズ発祥の地、横浜市の実行委員会型式での、継続して取り組む手法を視察した。
成果・所感	「街全体をステージに」を合言葉に1993年にスタートし、今では例年10万人超の観客が訪れるイベントに成長した。 会場のプロモーションによる「ホールライブ」 横浜の口々のジャズシーンを支える「ジャズクラブ」 アマチュアプレイヤーの晴れ舞台「街角ライブ」 と様々なジャズの楽しみ方ができる。 成功できている大きな要因として、ジャズクルー（運営ボランティア）約200人の存在が大きいと感じます。 「市民一体で創るフェスティバル」をスローガンとして、公募で集まった市民ボランティアが業務を担っていることが、ジャズを通じた街づくりになっていると感じます。



ホールライブ

プロのミュージシャンによるホールでのライブ。国内外からプロが集まり、若手からベテランまで、様々なジャンル・スタイルのジャズが演奏され、ジャズ初心者から愛好家まで、幅広い皆様に「横浜でしか体験できない」白熱したステージをお届けしています。



街角ライブ

アマチュアミュージシャンを中心に、200組以上のバンドが、市内の街角や、横浜ならではのロケーションで JAZZ を奏でます。アマチュアミュージシャンの演奏の場を提供するとともに、通りがかりの市民・観光客の方々が JAZZ の楽しさに触れる場を提供しています。



ジャズクラブ

横浜の JAZZ シーンを育み、支えているジャズクラブ。ホールとはまったく違う雰囲気、クラブごとに個性を発揮する「横浜の匂」な JAZZ が聴ける場所。普段はオープンしていない屋間も、横浜 JAZZ PROMENADE 開催中はライブが行われます。



サテライト企画

「ジャズでつながる横浜の街！ジャズプロサテライト」として、2021 年から開始。横浜市の中心地のみでの開催だった 横浜 JAZZ PROMENADE が、市全域にエリアを拡大し、近隣地域に JAZZ をお届けしています。（2022 年は鶴見区、神奈川区、中区、保土ヶ谷区、磯子区、港北区、緑区、青葉区、都筑区で実施）

ents

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R6年 4月 12日

実施日時	6年 4月 9日（火） 13時 00分～ 16時 30分
参加者氏名	森川 慎
用務先	神奈川県横浜市
対応者	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 業務執行理事 鈴木 敦
目的・内容	横浜市のジャズプロムナードの企画運営をしている実行委員会を視察して、ジャズ発祥の地、横浜市における実行委員会型式での、継続して取り組む手法を視察した。
成果・所感	本市ジャズフェスティバルの先駆ける的な取り組みということで、興味深くお話をうかがった。1993年からの開始ということもあり、すでに多くのボランティアスタッフ等、固定のファン層が獲得できており、まちの恒例イベントとして定着をしている。 そのような人気イベントではあるが、横浜市からの補助金は100万円に過ぎないということで、必要経費は企業の協賛や、演者からの参加費によって賄われていることから、実行委員会および事務局諸氏の努力や市民の思いが結実しているイベントであると感じられた。行政的な支援を十分に得られずとも、市民の力で10万人強の集客を可能とする本イベントは市民協働の観点からも様々な示唆をいただけるものと感じた。 翻って四日市市のジャズフェスティバルについても、長年継続し、市民イベントとしての定着をはかることで、より市民にとって親しみやすいものとなっていくことを期待する。また市民参加と文化的な側面から本市にとっても重要なイベントだとするならば、自治体としての支援のありかたについて、まだまだ検討の余地はあると感じた。

資料別添付

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R6年 4月 12日

実 施 日 時	6年 4月 9日（火） 13時 00分～ 16時 30分
参 加 者 氏 名	笹井絹予
用 務 先	神奈川県横浜市
対 応 者	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 業務執行理事 鈴木 敦
目 的 ・ 内 容	横浜市のジャズプロムナードを企画運営をしている実行委員会をしさつして、ジャズ発祥の地、横浜市の実行委員会型式での、継続して取り組む手法を視察した。
成 果 ・ 所 感	日本で最大級のジャズフェスティバル「横浜市のジャズプロムナード」は2023年に30周年を迎え、コロナ後の4年ぶりの開催で85,000人の集客であった。1993年にスタートし、横浜の街全体で行うジャズフェスティバルは街を彩る魅力的な文化の象徴であると思う。 また音楽を愛する人で賑わい、国内外からジャズ・ミュージシャンの育成にも繋がっており、様々な角度から発信することで、ジャズの発祥の地として多くの方に親しんでいただけるのではないかと感じた。 また、ホールライブ・街角ライブ・ジャズクラブなど企画も多数あり、ボランティアの方や協賛企業も含め、更にパワーアップしてほしいと思う。 「街全体をステージ」という合言葉があるように、音楽を通じて街を明るく・楽しく、市民全体が一体となるように今後も盛り上げてほしいと感じた。

資料別添付

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R6年 4月 12日

実 施 日 時	6年 4月 9日（火） 13時 00分～ 16時 30分
参 加 者 氏 名	↓ 杉 理
用 務 先	神奈川県横浜市
対 応 者	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 業務執行理事 鈴木 敦
目 的 ・ 内 容	横浜市のジャズプロムナードを企画運営をしている実行委員会をしさつして、ジャズ発祥の地、横浜市の実行委員会型式での、継続して取り組む手法を視察した。
成 果 ・ 所 感	四日市市でも開催されている ジャズフェスと、重ねあわせて視察いたしました 横浜という場所や歴史の中での取り組みの意義や思い 併せて、行政からの補助額は100万のみで 企業協賛や参加者からの参加費によって賄われているということで 運営している 財団法人が事務局がしっかりしていること を掲げて、企画を行い実行できるように進めている ボランティアスタッフの育成なども視野に入れながら 常に継続を意識して運営していることなど非常に参考になりました

資料別添付

質疑

荻須：長野県松本市はサイトウ記念フェスティバルでボランティアが増えて来たと聞く。ボランティアの育成はどのように行っていますか？

鈴木：育成はしていないが、20回にわたり、親子で参加し、長く続けている方もみえます。宣伝はチラシを撒く位です。

荻須：ボランティアは固定されているか？

鈴木：半分ぐらいのボランティアが毎年入れ替わっています。

ボランティアは高齢化しており、オッカナイと思うケースもあり、課題である。しかし、20代のボランティアもいますが、平均年齢は高い。

荻須：プロが録音し出版したりする例はありますか？

鈴木：そういう例はありません。プロのステージもケーブルテレビの横浜テレビが入り、録画、放送しています。それに対してプロの演奏家に支払う事は無い。放映すると最初から謳ってある。

笹井：倍位の応募者からの選抜方法は？

鈴木：抽選です。音が大きく出せる、出せないで、会場が限られ、全てのカテゴリーにおいて抽選している。

笹井：何に気をつけていますか？

鈴木：事務局がしっかりすることです。

笹井：ジャズの魅力は？

笹岡：楽しいことです。

上：天候リスク以外で困った事がありますか？

鈴木：だいぶ前に、プロのライブを自由席でやっていた頃、チケットを多く売りすぎてパンクしました。天候では屋外会場は難しいです。

上：来場者数が多く、観光客の宿泊、飲食ではキッチンカー等を招かないのですか？

鈴木：キッチンカーは招いていません。やれば収入になるだろうが、特段やっていません。商売をしている人が、乗っかってもらえばそれで良いです。

伊藤：ジャズとダンスのコラボはありませんか？

鈴木：やった事があります。スイングジャズで、これに合わせて踊る企画がありました。

伊藤：四日市ではダンス会場に、月に1回ほど、ジャズバンドに来てもらっている例があります。

鈴木：それは素晴らしい。ジャズ協会で失敗した例は当方にはあります。

荻須：どの辺までをジャズとするのですか？

鈴木：街角ライブでは、いろんなジャズを演奏してもらいます。エントリー用紙にジャズのジャンルと演奏曲目も書いてもらう。フュージョンも多いです。周辺から怒られた例もあるが、幅広く今時のジャズもあります。ホールはモダンジャズの王道みたいなのが多いです。

荻須：大らかにやってみえますね。

横浜ジャズプロムナード 会派視察 抄録

日時：令和 6 年 4 月 9 日 13:30~15:00

場所：横浜市中区山下町 2 産業貿易センタービル 1 階

対応者：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 業務執行理事経営企画グループグループ・グループ長 鈴木敦

横浜ジャズプロムナードの説明

ジャズの起源として、100 年前の 1925 年に横浜伊勢崎町の気楽座で最初のジャズが響いた。戦後は米軍の施設で演奏され、その後に渡辺貞夫などがここで育った。1925 年神奈川新聞の広告に「ジャズライブ」なる文字があり、これが公式には一番古い。ダンスホールの様な施設で演奏されていた。1991 年に私共の財団と任意団体のジャズ好きの団体とで氷川丸の船上で第ゼロ回のジャズプロムナードが開催された。以後、30 年以上続いている。

2019 年 4 月の日経新聞の何でもランキングでは、向こうで勝手にジャズの催しで第 2 位になった。1 位は仙台だった。当該公益財団が運営主体であり、毎年 10 月の二日間、横浜の街がジャズに染まります。

日産ジャズアワード等の企画もあり、毎年抽選で参加者を決めるが、出演者には参加料の 1000 円を支払ってでも出たいと言う方が多い。意外とジュニアバンドも多い。地方ではジャズでない音楽も含まれるケースが多いが、ここはジャズでないとはねられる。

予算規模は 3 億 2,115 万円で、真面目にやっていると企業の協力を得られた。JR 東海からキャンペーンへの協力の仕事をもらった。継続して 1 年間の行事がある事で、スタッフをつなぎとめられる。他にも多少の手数料を得られる仕事がある。予算規模は 3000 万円ちょっとで、過去には 4500 万円の頃もあったが、入場料収益はプロの演奏に対して。我々主催団体の 830 万円の負担金支出とジャズ協会も 40 万円、街角ライブの参加料@1000 円で 200 万円、文化庁からの助成金は取れない年もあるが、このところ継続している。三菱地所等の企業からご支援を頂いている。

横浜市からの協賛金は現在 100 万円であり、過去の 400 万円から減ってきた。協賛金は主に企業からの 850 万円である。その他収入はグッズ販売です。ライブの支出でプロのライブが 640 万円の収入で 1000 万円、街角ライブで 1000 万円。プロのライブは赤字で、独立行政法人日本芸術文化振興会からの助成金 400 万円等で埋めている。街角ライブの誘致があると協賛金を頂いて、そこでライブを行う。ジャズ協会は任意団体でジャズ好きのおじさん達の団体です。当日の運営はイベント会社に業務委託する部分もあるが、我々とボランティアで運営する。300 人くらいの全員での打ち合わせも行う。市は共催と補助金の支出の他には施設、場所の提供に便宜を図って頂いている。市が協力する理由は「市民に身近な文化芸術の？と街のにぎわいの創出」が規定されているから。天候リスクは 2019 年に台風が直撃して 1000 万円程の欠損が出て、実行委員会では対応できず、財団が補助した。以来、天候保険に加入しています。

上：抽選に外れ続ける例はありますか？

鈴木：あり得ます。特に救済策はありません。

笹井：ジャズクラブの参加はありますか？

鈴木：ジャズクラブと思われるところに、参加しませんか？との書面を送るのですが、25軒中、昨年の返事は12件だけで、把握できていません。

上：ジャズの盛んな市はどこですか？

鈴木：特に把握はしていませんが、東京にはジャズハウスは多いです。

荻須：神戸も人口比では多いですね。

上：横浜市は何をしてあげれば良いのでしょうか？

鈴木：支援金が減っているが、自立できているのは良い。お金が増えると口出しされる方も増える。

鈴木：質問しますが、四日市市のジャズフェスティバルの300万円の収入はどのようなものですか？

笹岡：市からは120万円です。第四回からしか出していません、この時に100万円で、その後120万円となった。四日市市は開催しなかった年も、補助金を出しています。しかし、こちらに比べても規模が小さい。

鈴木：市は一旦切れると、次が出せない。

笹岡：四日市市の観客動員数は3万2000人です。

鈴木：それは多い。2023年で、当方で10万人です。

笹岡：イベント中止保険は高額になりますか？

鈴木：40～50万円です。使わなければそれで良い。

笹岡：行政からジャズクラブへの助成金がありますか？

鈴木：市からの百万円は用途が限られていて、興行であるプロの報酬には使えません。主にボランティアに支出しています。

笹岡：四日市市のジャズフェスティバルは、こちらの真似をしています、四日市市から職員は学びに来ましたか？

鈴木：四日市市からは来ていませんが、金沢市は学びにいらして、真似をされました。あそこは、がっつりと行政が絡んでます。

笹岡：協賛金についてはいかがですか？

鈴木：昔は1千何百万円位ありましたが、今は繋ぎとめるので精一杯です。30年間で定着しており、「頑張ったね。」という気持ちで支出してくれる企業が多くあります。

我々はSNS等での発信が得意ではなく、全体のプログラムを8月からチラシの代わりに配っています。A4で20ページなので郵送するのにはお金がかかります。一般市民にも配ります。

上：会場スタッフの配置は各会場のチーフが決めるのですか？

鈴木：はい。ボランティアスタッフもお客さんと思っており、観に来るお客さん以上に、良

い印象を持って帰ってもらいたいです。

森川：準備はいつから始まりますか？

鈴木：5月下旬に実行委員会を持ち、概要の発表、ボランティアと参加アマチュアバンドの募集を行い、8月1日にプログラムを作成しますから、7月中に全て終わります。

荻須：謝辞。

以上



横浜 JAZZ PROMENDE

令和6年4月9日



■1993年の初回から続くボランティア『ジャズクルー』■

屋内屋外でお客さま案内、当日券販売、司会
ステージ補助、搬入搬出補助、楽屋対応
各会場の記録撮影など多彩です。



各会場のチーフは、財団職員やJAZZ協会、委託の
NPOスタッフが担っています。

本番前の全スタッフ集合してのMTGをし、
仕事内容を理解するとともに、
詳細な運営マニュアルを作成しています。



視 察 研 修 報 告 書 (2)

令和 6 年 4 月 22 日

視察日時	令和 6 年 4 月 10 日(水) 10:00~12:00
視察者氏名	政友クラブ 川村幸康
視 察 先	東京都新宿区
説 明 者	SB テクノロジー株式会社 高木啓暁氏・福嶋健二氏
目的	自治体における AI の活用策の先進的な取り組みで推進されている民間企業でのトップリーダーである SB テクノロジー株式会社様を訪問し、本市の更なる活用策を探ることを目的とした。
内容	高木啓暁氏よりゼロカーボンシティに向けたビックデータについて、その後福嶋健二氏 AI 活用ユースケースと題して講話をお伺いした。 その後参加者より質疑応答を受けた。
所感・感想	「自治体における今後の AI の活用について」 宿泊ホテルである全国町村会館ホテルから渋谷を経由して東新宿に向かった。 SB テクノロジー株式会社には公共交通機関の利便性の高さから予定より 30 分ほど早く到着することが出来た。SB テクノロジー株式会社に連絡を入れさせて頂き、30 分ほど早く視察を受け入れて頂くことを御願い申し上げたところ快諾頂き感謝した。 当社の所在する新宿イーストサイドスクエアーは多くの人が行き交う活気ある街中にあり、都市機能が集約された機能的な街づくりが進められており、目的地に向かう動線も洗練されたデザインに感心し、若者が多く行き交い活気あふれる未来都市と感じた。 視察先である SB テクノロジー株式会社のオフィスは 17 階にあり、会社内はセキュリティの行き届いた管理がなされており、会社の広いエントランスからは来客者がオフィス内に自由に出入りすることは出来ない様に工夫されている。 担当者の案内でブリーフィングルームに案内され、視察目的に先駆けて高木啓暁氏より SB テクノロジー株式会社の会社紹介を頂いたが、情報産業の最先端で動く企業らしい経営方針や取り組みの姿勢について多くを学ぶことが出来た。 その後、福嶋健二氏からは「ゼロカーボンシティに向けたビックデータと AI の活用」については、データを可視化してゆく事が重要とのことで、具体例として岐阜県多治見市の「ソーラパネル付きステーション施策」、さいたま市における「自動運転の自治体連携策等」の施策展開からデータ活用による都市政策の推進については、今後の自治体の様々な施策に展開可能な事例と受けとめ、注目したのはシェアサイクル事業における移動データの活用であり、地域の活性化に向けてデータを活用できるとの報告に、まさに新たな視点での取り組みであると感じた。 講義終了後には質疑応答の時間を頂き、全員から様々な視点での質問が相次ぎ、本市における諸課題解決に向けた取り組みへの示唆に富んだやりとりとなった。 今回の視察を受けて、四日市市の AI 活用のあり方については市職員の専門的な知識の構築と先端企業との連携策のあり方が大きなポイントになるのではと感じた。

視 察 研 修 報 告 書 (2)

令和6年4月10日

視察日時	令和6年4月10日(水) 10:00~12:00
視察者氏名	政友クラブ 笹岡秀太郎
視 察 先	東京都新宿区
説 明 者	SB テクノロジー株式会社 高木啓暁氏・福嶋健二氏
目的	自治体における AI の活用策の先進的な取り組みで推進されている民間企業でのトップリーダーである SB テクノロジー株式会社様を訪問し、本市の更なる活用策を探ることを目的とした。
内容	高木啓暁氏よりゼロカーボンシティに向けたビックデータについて、その後福嶋健二氏 AI 活用ユースケースと題して講話をお伺いした。 その後参加者より質疑応答を受けた。
所感・感想	「自治体における今後の AI の活用について」 宿泊ホテルをチェックアウトしメトロ永田町駅から渋谷を経由して東新宿に向かう。 SB テクノロジー株式会社がある新宿イーストサイドスクエアは、都会のアミューズメントパークの中に位置する大きな建物で、多くの人が行き交う活気ある街で、駅から動線は機能適で快適な移動空間であった。都内移動の路線網は充実しているが、徒歩での移動が思いのほか多いことに気づく。10時からの視察予定であったが、スムーズな移動で予定より30分ほど早く現地に到着したことから SB テクノロジー株式会社様のご厚意で時間を前倒しでの研修とさせて頂いたことに感謝する。SB テクノロジー株式会社様のオフィスは新宿イーストサイドスクエア17階に位置し、会社のエントランスは広くてアロマの香りが漂っており、来客者をリラックスしてお迎えする姿勢が素晴らしいと感じたところである。 スピーカーは 高木啓暁氏が SB テクノロジー株式会社の会社紹介、福嶋健二氏からは sip プロジェクトについてを担当して頂いたゼロカーボンシティに向けたビックデータと AI の活用について学んだ。グリーンとデジタル融合させ、データを可視化してゆく事の重要性をご示唆頂いたところであり、具体例として岐阜県多治見市の「ソーラパネル付きステーション施策」、さいたま市における自動運転との連携自治体との連携策を通し、データを活用した分析で都市政策へ活用させてゆく事例は、様々な施策に展開可能な事例と受けたためたところであり、特にシェアサイクル活用策における移動データの活用策には地域の活性化に向け、新たな視点での取り組みと感心した。講義終了後には質疑応答の時間を頂き、本市における課題解決に向けた取り組みへの示唆に富んだやりとりとなった。 SB テクノロジー株式会社様の社是は「情報革命で人々を幸せに」とし、その上で「技術の力で、未来をつくる」と方向付けをされ、大きく成長する企業としてクラウドやセキュリティの技術力を軸に各種の DX 推進に取り組まれています。この取り組みは半紙の施策推進にも通じる視点であると認識致します。「情報革命を活用し、市民を幸せに」と置き換え、先端技術の応用で四日市の未来をつくる」に置き換えると四日市市の新たな展開が見えるのではと感じたところである。 視察終了後には新宿イーストサイドスクエアの一角にあるレストランまでご案内頂き、昼食の後、東新宿駅から品川へ向かい帰路に就いたところである。 首都圏における視察は数年ぶりであったが、先進的なまちづくりや取り組みに学ぶところは大きい、本市ならではの視点での取り組みの工夫も必要であると感じて四日市に着いた。

調査研究、研修報告書

R6年 4月 20日

実施日時	6年 4月 10日（水） 9時 45分～ 11時 45分
参加者氏名	日置 記平
訪問先	東京都新宿区新宿6丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア17階 SBテクノロジー株式会社
対応者	SBテクノロジー株式会社 経営企画本部副本部長 高木啓暁 管理本部事業戦略室 福嶋健二 公共営業統括部公共事業戦略部 篠田一輝
目的・内容	クラウド業界をリードするSBテクノロジー社を視察し、AIを活用して公共交通を補完するサイクル・ステーションの事例から、ゼロ・カーボン・シティモデルの確立に向けた取り組みを学ぶ。AIと呼ばれる人工知能のサービスを中小企業向けに展開しており、地方自治体向けには、会津若松市、水戸市、多治見市、加古川市、岡崎市において、電動アシスト自転車によるレンタサイクル事業を請け負い、太陽光発電・充電施設を兼ねたマルチ・モビリティ・ステーションを中心とした事業運営にこのサービスを活かしている。ここから得られる様々なデータをAIの予測エンジンにより処理して活用するグリーン・モビリティ・データプラットフォーム構想を四日市市でも導入する事を提案された。
成果・所感	通信事業者としての情報通信事業に加えて、ソフトバンク・テクノロジーの業務内容は、通信を軸とした地方公共団体のデジタル・トランスフォーメーション（DX）を支えている事を学んだ。 地方自治体の通信、ビッグ・データおよびオープン・データの解析、運用等を通して着実に自治体の施策の改善に寄与している。 AIサービスにより、駅などの交通結節点とマルチ・モビリティ・ステーション及び自転車の返却点を効率よく配置する手法を導き出している事は評価できる。この自転車の運行状況から得られるオープン・データを解析する事で、様々な情報を得て事業の効率化を進めている。データ解析は四日市市のデマンドタクシー等にも応用できるし、サイクル・ステーション自体も導入すべきと感じた。

資料別添付

調査研究、研修報告書

R6年 4月 18日

実 施 日 時	6年 4月 10日（水） 9時 45分～ 11時 45分
参 加 者 氏 名	荻須智之
訪 問 先	東京都新宿区新宿6丁目27番30号新宿イーストサイドスクエア17階 SBテクノロジー株式会社
対 応 者	SBテクノロジー株式会社 経営企画本部 副本部長 高木啓暁 SBテクノロジー株式会社 経営管理本部 事業戦略室 福嶋健二 SBテクノロジー株式会社 公共営業統括部 公共事業戦略部 篠田一輝
目 的 ・ 内 容	SBテクノロジー社は脱炭素社会の構築のために、地方自治体に対して、様々な施策の提案をおこなっており、AIを活用した公共交通を補完するサイクル・ステーション等の提案をしている。新宿社屋の視察により、岡崎市、多治見市や福山市などの他市町での実施例を学ぶ。
成 果 ・ 所 感	ソフトバンク・テクノロジーの業務は、主に通信キャリアとしての、情報通信事業が主たるものと見做していたが、実際の業務内容は、通信を軸として、地方公共団体のデジタル・トランスフォーメーションを支える様々な事業を持つ事を学んだ。あくまでも一民間企業ではあるが、携帯電話とインターネット・キャリアとして、公共性の高い業務から発展して、地方自治体の通信、ビッグ・データおよびオープン・データの解析、運用等を通して着実に自治体の施策の改善に寄与している。一例として岡崎市が取り組んでいる、太陽光発電パネルと電池を組み合わせたバッテリー付貸し自転車のステーション運營業務委託を紹介された。再生可能エネルギーを用いて、街中の移動の一部をカーボン・ニュートラル化する事に成功している。交通結節点に対して、当該ステーションと返却点を如何に効率よく配置するか？ この自転車から得られるオープン・データを解析する事で様々な情報を得て、事業の効率化を進めている。データ解析は四日市市のデマンドタクシー等にも応用でき、サイクル・ステーションも導入すべきと感じた。（※別紙の抄録参照）

資料別添付

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R6年 4月 15日

実 施 日 時	6年 4月 9日（火） 13時 00分～ 16時 30分 6年 4月 10日（水） 9時 45分～ 11時 45分
参 加 者 氏 名	森 康哲
無 先	東京都新宿区
対 応 者	SBテクノロジー株式会社 経営企画本部 副本部長 高木 啓暁 SBテクノロジー株式会社 経営管理本部 事業戦略室 福島 健二 SBテクノロジー株式会社 公共営業統括部 公共事業戦略部 篠田一輝
目 的 ・ 内 容	SBテクノロジー社は岡崎市や福山市などと、脱炭素社会の構築を目指し、公共交通の隙間産業の提案をAIを活用し、提案をしている会社の視察をした。
成 果 ・ 所 感	SBテクノロジー社はソフトバンクグループの一つで企業や官公庁向けのICTサービスビジネスを取り扱い、その中の地方都市に向けた公共施設の前や駅前の土地を活用して、再エネ&マルチモビリティステーションを設置し自転車、スクーター、小型EVやインフラとして5Gアンテナ、チャージャーSta、次世代エネルギー、情報発信などをワンパッケージにして、設置をし行政と民間企業のマッチングをしているまた、マルチモビリティシェアのCO2排出量/削減量の見えるかに取り組んでいるほか、ゼロカーボンシティに向けたビッグデータとAIを活用して戦略的イノベーション創造プログラムに沿って提案している。。本市にとっても駅前のバスタ事業との併用や各公共施設への設置など、場所貸しをすることによっての市民への利便性の向上とゼロカーボンシティの取り組みに対して、有効であると感じた。

/料別添付

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

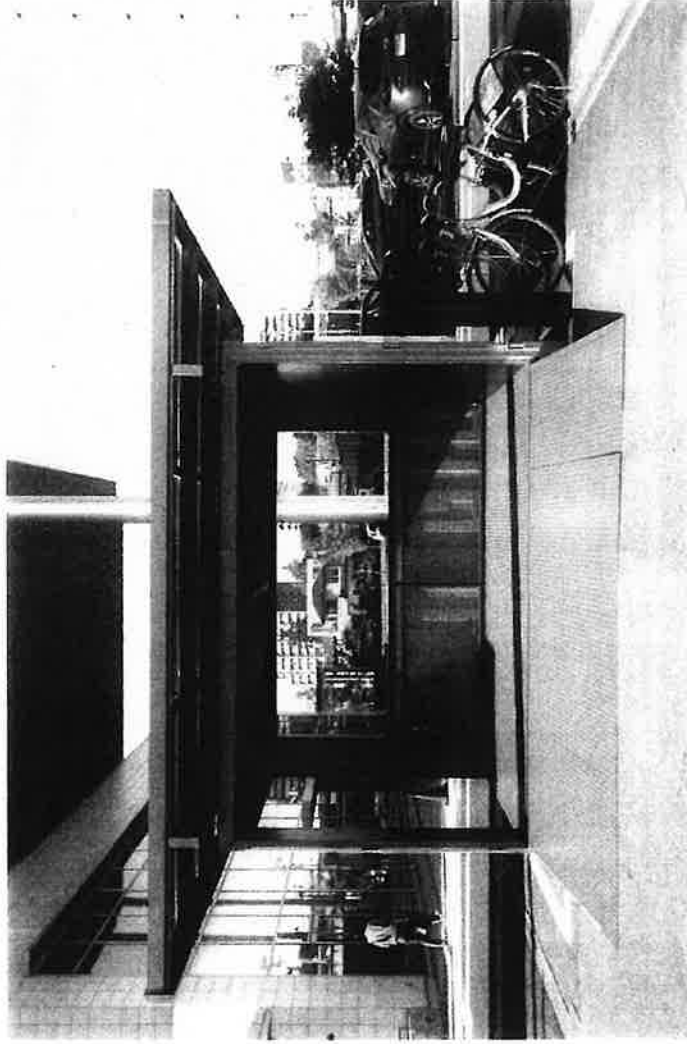
R6年 4月 12日

実施日時	6年 4月 10日（水） 9時 45分～ 11時 45分
参加者氏名	伊藤 翔也
無 先	東京都新宿区
対 応 者	SBテクノロジー株式会社 経営企画本部 副本部長 高木 啓暁 SBテクノロジー株式会社 経営管理本部 事業戦略室 福島 健二 SBテクノロジー株式会社 公共営業統括部 公共事業戦略部 篠田一輝
目的・内容	SBテクノロジー社は岡崎市や福山市などと、脱炭素社会の構築を目指し、公共交通の隙間産業の提案をAIを活用し、提案をしている会社の視察をした。
成果・所感	ゼロカーボシティ実現に向けて、地域再エネIoT導入でゼロカーボシティのモデル化を進めている （例）再エネ・ソーラーカーポート + 電動自転車 + 小型EV = CO₂削減 シェアでのモビリティ需要 = 経済活動 = 住民・観光客の移動の自由度向上につながる。 ソーラーパネル付自転車や 電動モビリティ充電ガレージは、中心市街地に対し検討は考えれると思いますが、本市が抱えている公共交通不便地域に対しては、どの様な対応ができるのかは、不明である。本件における考え方として、災害等において医師がトリアージを行い優先順位をつき、その考え方に沿って考えられる今後のすべいか検討してみたい。

E-Cube : 電動モビリティ充電ガレージ

関係者外秘

SB Technology



- 電動モビリティとインフラを簡易に、ハイスピードに社会実装可能
- 10平米以下で建築確認申請不要で、即設置可能
- 需給一体管理をしながら、最適な形で基礎充電を実施
- E-Cubeで発電するエネルギーを防災時にも活用可能
- 通信(5G/公衆Wi-Fi)、自動搬送ロボット(AMRなど)による電源整備など街に必要な機能を集約することも可能

再生可能エネルギー (PV) を活用した マルチモビリティプラットフォーム

■ 太陽電池モジュール

- 種類：両面受光型320W (W5,157×D4,069)
- 発電出力：3.84kW (パネル12枚)
- 年間発電量：約4,400kWh (C+pod走行換算72,600km/年)

■ コンテナ

- サイズ：12フィートコンテナ (W3,175×D2,450×H2,500)

■ その他

- 充電設備：16A 単相200V AC

■ オプション

- 自立パッケージ

(鉛電池 19.2kWh、インバーター 200V/4.0kW、100V/1.5kW)



（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R6年 4月 12日

実 施 日 時	6年 4月 9日（火） 13時 00分～ 16時 30分 6年 4月 10日（水） 9時 45分～ 11時 45分
参 加 者 氏 名	森川 慎
用 務 先	東京都新宿区
対 応 者	SBテクノロジー株式会社 経営企画本部 副本部長 高木 啓暁 SBテクノロジー株式会社 経営管理本部 事業戦略室 福島 健二 SBテクノロジー株式会社 公共営業統括部 公共事業戦略部 篠田一輝
目 的 ・ 内 容	ソフトバンクテクノロジー社は複数の自治体と、脱炭素社会の構築などを 目指し、データ分析事業や、AI等の先端情報技術を活用し、公共交通 や農業分野など様々な事業を展開している。その先端技術を学ぶと共 に、本市への導入可能性についても研究する。
成 果 ・ 所 感	SBテクノロジー社は様々な先端技術を活用し、市民生活や社会を前進 させることを希求する会社である。 その最先端技術を用いる上でもっとも肝要なものは情報である。人の 動き、人の密集の状況、公共交通の利用のされ方等々、様々なデータ・ 情報をインプットして、あるいはアウトプットして、その先端技術をど う活用して、私たちの社会をどう改善していくかということが求められ る。AI技術にしても膨大かつ正確な情報の有無がその技術の大きな核心 を占める。またこのような技術等を自治体運営に活用するという観点か らは、行政側の情報に対するリテラシーが大いに求められるし、その技 術を使っていかに市民生活を向上させるかということが第一義でなけれ ばならないと強く思った次第である。 企業は企業として脱炭素等、現代の社会情勢を鑑みた企業努力を行っ ていく一方で、その取り組みと歩を一にして、いかに公共としてその実 をまちづくりに取り入れていけるかどうかということが、人口が減少す る今後、よりいっそう自治体の差につながっていくであろう。

資料別添付

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R6年 4月 12日

実施日時	6年 4月 9日（火） 13時 00分～ 16時 30分 6年 4月 10日（水） 9時 45分～ 11時 45分
参加者氏名	笹井絹予
無 先	東京都新宿区
対 応 者	SBテクノロジー株式会社 経営企画本部 副本部長 高木 啓暁 SBテクノロジー株式会社 経営管理本部 事業戦略室 福島 健二 SBテクノロジー株式会社 公共営業統括部 公共事業戦略部 篠田一輝
目的・内容	SBテクノロジー社は岡崎市や福山市などと、脱炭素社会の構築を目指し、公共交通の隙間産業の提案をAIを活用し、提案をしている会社の視察をした。
成果・所感	社会的課題となっている住民の移動手段の確保に向けた取り組みとして、SBテクノロジー社の公共交通活用を視察した。 2030年までにカーボンニュートラル宣言のもと、テクノロジーを活用し、脱炭素社会の実現へ貢献していくとのこと。 視察先が東京であり、オフィス街も夜間はビルの照明の明るさが凄く、膨大な電力の使用に驚いた。これに対して、SBテクノロジー社では電力消費量や再生エネルギー発電量などを「CADDE」で収集し可視化する環境を構築しているとのこと。 また、公共交通の利用促進に向けた実証実験を実施している地方自治体の取り組みを紹介いただいた。岡崎市でも従来から課題であった交通渋滞が更に激化しているとのことで、公共交通の利用促進に向けた実証実験が行われている。四日市市も渋滞対策が課題となっており、今後、スマートシティに向けた取り組みが加速していくが、地方自治体においてもAI・IoTなどを活用し、最先端技術を使用して、市民がいかに生活しやすいまちづくりを構築できるかが課題と言える。

資料別添付

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

R6年 4月 12日

実 施 日 時	6年 4月 9日（火） 13時 00分～ 16時 30分 6年 4月 10日（水） 9時 45分～ 11時 45分
参 加 者 氏 名	上 藤 理
無 先	東京都新宿区
対 応 者	SBテクノロジー株式会社 経営企画本部 副本部長 高木 啓暁 SBテクノロジー株式会社 経営管理本部 事業戦略室 福島 健二 SBテクノロジー株式会社 公共営業統括部 公共事業戦略部 篠田一輝
目 的 ・ 内 容	SBテクノロジー社は岡崎市や福山市などと、脱炭素社会の構築を目指し、公共交通の隙間産業の提案をAIを活用し、提案をしている会社の視察をした。
成 果 ・ 所 感	AIや様々なITテクノロジーの開発が進む中 自治体がそれらを活用する意味やメリット、デメリットなどを確認いたしました 多様な面からみてもこの業界が大変速い速度で新たな開発が進み また、民間の動きや物の考え方の速さに圧倒されるばかりでした どちらかという行政（自治体）では切り離しがちに考えられる AI、ICT、ITなどと カーボンニュートラルやSDGsは 市民の皆様の利便性や安全は 民間企業においては全てつながっており、それらを総合して 事業がなされているが、各自治体においても実はその総合という部分は 対応する側のマンパワー思いの差で全く違うということ 他市の例で感じました

会派視察 SB テクノロジー(株) 抄録

日時：令和 6 年 4 月 10 日

場所：東京都新宿区新宿 6 丁目 27 番 30 号新宿イーストサイドスクエア 17 階

SB テクノロジー株式会社

応対者：サービス統括セールス&マーケティング本部公共営業統括部公共事業戦略室 篠田一輝、管理統括経営企画本部副本部長 高木啓暁、サービス統括ビジネスイノベーション本部兼経営管理、統括部事業戦略室プリンシパルストラテジスト 福嶋健二

高木氏:会社概要。クラウドの業界は、ソフトバンク・テクノロジーがリードしています。導入実績はナンバーワンです。自治体情報を扱うセキュリティークラウドでは営業利益 71 億円、営業利益率 9%代。クラウドセキュリティー&サービス全体では売り上げ 500 億円です。社員数 1,417 名、23 年度新卒採用者 76 名。上場企業としてサステナビリティを意識しています。

デイリー AI サービスについて

中小企業でも事業準備なしで始められます。チャート分析ができる上にセキュリティーも万全です。法人向けには 10 万円からでもスタートできます。

福嶋:ゼロカーボンに向けたビッグデータと AI 活用では、「社会実装せよ!」と国から求められているが、「一体それは何なのか?」から始まった。内閣府による戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)がなぜ内閣府なのか? 一つの例としては、国交省だけだと対応しきれないので、省庁横断的に進めるプロジェクトであるからです。ビックデータを活用したサイバー空間技術の革新、分野間のデータ移行、連携基盤(コネクタ)の全体構想等である。同じマネージャーでも用途が情報により変わる。これを揺らぎと呼ぶが、日立、東大、富士通等が関わっています。このグループに社会実装を得意とする当社が加わることとなった。2021 年に実証実験、会津若松市、水戸市、多治見市、加古川市の 4 市のうち多治見市は何もしていない市として参加しました。電気自動車の導入等にも関わり、多治見市では再生エネルギーでできたエネルギー(電気)がチャージされているが、ここにデジタル技術が用いられ、自治体の施設運営のコストダウンに寄与した。その後、岡崎市が加わり、脱炭素の国のプロジェクトに手を挙げた。岡崎市は非常に熱心です。一方多治見市は人口 12 万人だが、駅前開発で潤っており、ゆっくりしている。市長がやれといっても進まなかった。

シェアサイクルから 0 カーボンシティモデルの確立へ

再生エネルギー・ソーラーカーポート+EV+小型EV(電動アシストサイクルを含む)=C
の削減

堺市、岡崎市、さいたま市で実装されています。今後のマルチモビリティステーションは

自転車、スクーター、EV、5G アンテナにチャージャーを加えた次世代エネルギーのステーションである。ここでのデータ活用によるスマートシティ、連携、GPS、移動経路等のオープンデータを収集し、様々な用途に活用する。

多治市の例:ソーラーパネル付きステーション、自動運転との連携、トヨタとパナソニックと連携をしました。

事前にお調べしましたが、四日市市は渋滞、JR 四日市駅、近鉄四日市駅の立地条件から、このプロジェクトの活用の可能性があります。岡崎市はうまくいった例で、シェアサイクル車両の移動データからこれを解析し、サービスの向上に役立てました。また YouTube を使って宣伝し、聖地巡礼等への観光客の誘致を始め、都市政策や交通政策に活用しています。さいたま市では交通空白地の補完として、公共交通機関の徒歩圏を分析し図式化しました。これをステーションの設置場所に反映しました。

他の例では、町田市まで箱根を越えて通勤している人もいたことがわかりました。

バッテリー付きサイクルはレジリエンスの点で災害時に良いです。健康→収益性の確立→低炭素社会の実現につながります。

多治見市は車の街なので、なかなか進まなかったが、若い人、夜勤のある看護師がバッテリー付きシェアサイクルを使い出した。ステーション内で充電が可能であり、マルチモビリティシェアでのデータを可視化できます。その後、豊田市が導入して多治見市も動き出した。「何によって発電された電気を入れたのか？」はわからなくなるので、この解析にはデジタル技術を使いました。

グリーンモビリティデータプラットフォーム構想

AI で予測エンジンを動かしスコアリングする。これをベースにデータ結合、管理、分析を行います。これを四日市市で活用してはいかがでしょうか？

質疑

笹井：どんな人材が社内には、いるのですか？

福岡：熱意を持った人です。若手を採用することと、「やってみろ」と言う課長。この人材に加えて、先進事例を盗むことです。岡崎市はウェルカムでした。ここと福山市は姉妹都市関係だったので、情報交換がありました。職員は管理職の権限にこだわらない方が良いです。

笹井：昨夜永田町を見て、夜なのにすごく明るく大量の電力を消費していると感じました。この電力のコントロールにデジタル技術は活かせるのですか？

福岡：空から見ると、ニューヨークは暗いが、東京は明るく過剰に電気を使っていると感じます。一番難しいのは職員の行動変化を起こさせることです。スマートビルディングは今後普及し、森ビル曰く、優良企業はスマートビルディングでないと入居してくれなくなるでしょう。

高木：永田町近辺のビルも再エネ電気で動くものが増えていくと考えています。

笹井：サイバーセキュリティーの対応は？

福嶋：我々が積極的にやらねばならないのですが、セキュリティーの脆弱性は我々の飯の種です。自分たちの資産を守ることが企業の一番大切な仕事です。

ランサムウェアが入り込むことを防ぐことが我々の仕事でもあり、経営者が瞬時に認めて、いかに対応することが重要です。ただ、「漫然とシステムでやる」ではダメです。

笹井：名古屋港ではサイバー攻撃もあったと聞きましたが、どうですか？

福嶋：IT 規格化の動きがあり、どこかでつなぐとやられてしまいます。港のインフラでは「僕はないよね」との感覚があり、定常運転しか考えておらず、ここを突かれたようです。CO2 排出にしても、どれだけ出ているかわからない。サイバーセキュリティーに対しては knowledge が無い。

高木：いかに早く攻撃に対応するか？「危ないものには」が大切だ。セキュリティーを管理するチームが必要だ。

福嶋：計画化が大切です。

笹井：2000 年頃、Yahoo!が流行った頃からソフトバンクを見ています。

福嶋：最近は大量の紙データがなくなりました。

荻須：5G の Wi-Fi は量、質が向上するのですか？

福嶋：はい、動画もきれいに、早く流れます。今日のニュースで、Microsoft の 4400 億円の投資は、対象物件が関東と関西にしか置かれません。自治体は分散を NTT、ソフトバンクのキャリアでやって行きます。AI の処理能力を上げるのにもこの投資は使われるであろう。

荻須：四日市市も自動運転、デマンドタクシーの実験を行っています。これにオープンデータを活用すれば効率が上がりますか？

福嶋：計画立てて進めるべきです。実績があること、データ活用は仕様を行政が作るべきで、岡崎市はうまいです。担当者には中央省庁から戻った人もいいです。

荻須：自転車のチャージャーの接続はどうしますか？

福嶋：駐車場で簡単に接続できます。これが「ほったらかしにされるのでは？」と心配したが、利用者はもともとチャージャーが刺さっていると、返すときに刺してくれます。

バッテリーのメンテナンスをする業者職員もいます。自転車の耐久寿命は長いですが、2 年で償却できます。(20 万円を切るので) 行政は用地を貸すだけです。岡崎市の 1 ヶ月の自転車の利用料は 25,000 円にもなっています。

荻須：スマホの動きで人の動きを観察できるのですか？

福嶋：JR 出資の会社なので、SUICA のデータも関連させています。

通信事業者は各基地局から獲ったデータは法的に使ってはいけないことになっています。私自身はスマートメーター(電力)に関与していたので、災害時にスマートメーターのデータからその家の人が避難しているか否かを知る事が出来る事を知っています。

川村：料金は？ 雨の日はだめやろね？

福嶋：1 回 30 分で、150 円から 300 円です。料金はエリアで違います。電動アシストなの

で乗りやすいのですが、雨の日はダメですね。1 番の問題はヘルメットです。

笹井：アプリで予約するのですか？

福島：アプリでどのステーションの自転車が空いているかを知ることができます。

また、返却予約もでき、ソフトバンクなので、PayPay でも決済できます。ウィーチャットも連携していて、中国人旅行者には便利です。交通結節点と返却地をうまくリンクさせています。「乗り捨てのワンウェイか？」を決める必要があります。川崎市とさいたま市が導入予定です。

荻須：返却点からステーションに運ぶのは、事業者の仕事ですか？

福島：はい地元の事業者を使っています。

上：自動運転について、実験車に乗ったが怖かった。本当に活用できるのでしょうか？

福島：トヨタはトヨタでやりたい。ソフトバンクはソフトバンクでやりたい。との状況です。トヨタは港湾地域で主にやっています。2027 年頃にはできるのではないかと思います。他に貸切バス扱いだと法的規制もあり、法的な規制については中国がリードしています。

上：バス会社が参入しないじゃないですか？

福島：国交省がどこまで頑張るか？です。東京都内はエリアを決めて始まります。

上：4,400 億円の Microsoft の投資は事前にわかっていましたか？ また日本にとってのメリットは？

福島：わからなかったが、技術力が上がるでしょう。

上：一択(独占)の怖さはある。いろんなところに AI は入るのでしょうか？

福島：新たな領域に向けて、先行投資している状況です。

高木：Excel で便利になったようにツールの 1 つです。補えるところが大きい。

川村：光がそれなら影は？

高木：シンギュラリティーが起きています。

福島：格差です。なんで働くのか？という疑問。

高木：自分自身の軸が要ります。

福島：学校の先生は簡単に超えていきます。AI を賢くするためには、データの品質が重要で、日本はこの良さに気づいていない。データが AI を賢くします。

笹井：半導体は産業の米と言われますが、半導体と AI をどうつなげていくのですか？

福島：半導体はあくまでも道具であり、どう活用していくのか？もう一つは処理するデバイスとメモリーの方法はいるので、メモリーは必ず増えていきます。

川村：謝辞

以上



SB Technology
令和6年4月10日

お越しいただき誠にありがとうございます。
開始までしばらくお待ちください。

本日の流れ

1. SBテクノロジー会社紹介 (10分)
… 高木
2. SIPプロジェクト (20分)
… 福嶋
3. 質疑 (45分程度)

本日のスピーカー



高木 啓暁
SBテクノロジー株式会社
管理統括
経営企画本部
副本部長



福嶋 健二
SBテクノロジー株式会社
サービス統括
ビジネスイノベーション本部
プリンシパルストラテジスト

ソフトバンクグループの位置づけ

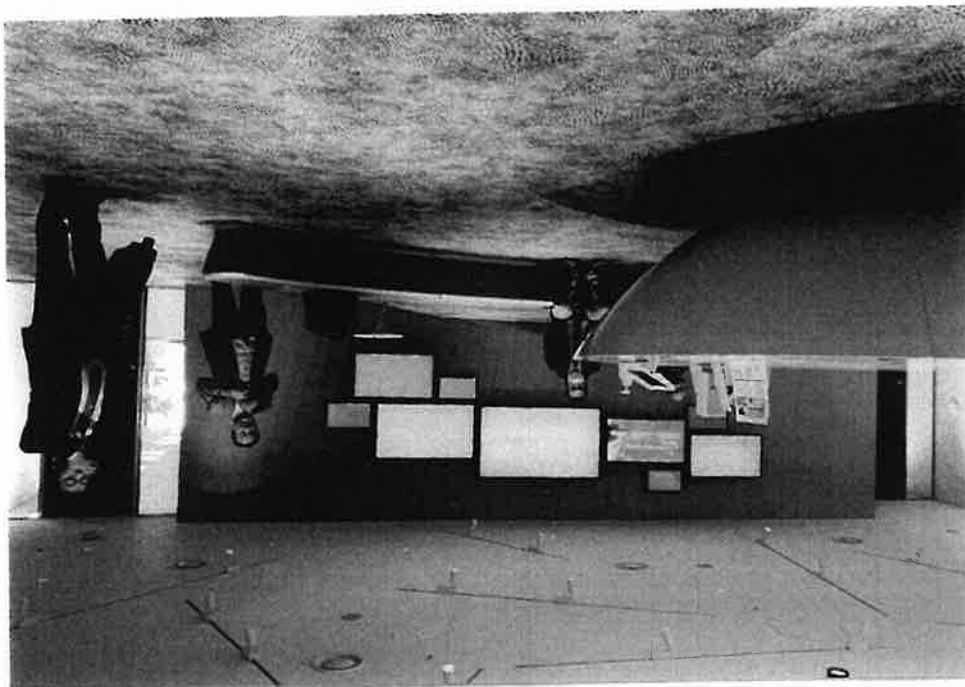
情報革命で人々を幸せに
— 価値の力で、未来をつくる —

ソフトバンク(株)

SB Technology

LINE Pay
PayPay
Aikui

SB Technology



領 収 書
金 2,200 円

四日市市議会 政友クラブ 様

但し、書籍代「豊かな部落史の学びのために」として

@1,100円×2冊分

上記のとおり領収しました。

令和6年4月23日


上杉 聡



豊かな 部落史の学び のために

DVDシリーズ

「映像でみる人権の歴史」
公式ガイドブック

【編著】

上杉聡・外川正明

【著】

岡本健・武田純子



解放出版社





9784759240641

ISBN978-4-7592-4064-1
C0037 ¥1000E



1920037010003

定価 1,000円+税
解放出版社

510-0085
四日市市諏訪町1番5号

政友クラブ

ご担当者様

お問合せ番号：T300881519

毎度格別のお引立に厚くお礼申し上げます。
ご請求内容のお問い合わせ、ご請求の住所、部課名、届け日の変更は
下記の窓口へ、「お問合せ番号」と共にご連絡をお願いします。

530-0005
大阪市北区中之島3丁目2番18号
住友中之島ビル 10F

富士フィルムサービスクリエイティブ
事務サービス部

TEL: 0120-069-840
FAX: 0120-497-002

お支払約束手日	2024年04月22日
お支払方法	口座振替
金融機関名	三十三銀行
本・支店名	四日市市役所内支店
預金種目/口座番号	普通預金 / ****
指定口座名	上記、お支払約束手日に口座より 引落しさせていただきます。

【ご案内】請求・支払いについてのお問い合わせやご依頼を
WEBで受付しています。“JMFAQ”で検索するとアクセスいた
だけますので、ぜひご利用ください。

<https://www.fujifilm.com/fb/support/callcenter/seikyuu>

備考：



請求書

発行日：2024年03月22日
請求書番号：840321-0131458

政友クラブ様

様

今回ご請求額 43,374円

富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社



毎度お引立を賜りありがとうございます。上記のとおりご請求申し上げます。
お問合せ番号：T300881519 電話：0120-069-840

登録番号：T1011101015050

料金項目 / 品名	期間 / 送品NO	枚数/数量	単価	小計(円)	合計(円)
1 トータルサービス料金	2024/02/21-2024/03/20				39431
2 黒モード	1カウント以上	1571	1,00	1571	
3 フルカラー	1カウント以上	3786	10,00	37860	
4 ご使用合計		5357			
5 【代金/料金合計】					39431
6 【消費税および地方消費税(10%)】					3943
7 【今回ご請求額】					43374
※ご利用機種/機械番号: DocuCentre-VII C5573 PFS 721569					
1 (今回) (前回) (テスト) (ミス)	2024/02/21-2024/03/20				
2 1 (206333) (204746) (0) (16)	設置先: 政友クラブ				
3 () () () ()					
4 3 (101276) (97451) (0) (39)					
5					

領収証

15000-2002629

政友クラブ

様

金額

¥43,374 ※

収入
印紙

但し 請求書通り

令和 6 年 04 月 22 日

上記の金額正に領収いたしました。

現金・小切手	¥	※
振込	¥	※
手形・相殺	¥	※
計	¥	43,374 ※

三重県津市栄町一丁目8番地
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社



(本証に社印および扱者印の無いもの、並びに金額の訂正したものは無効です。)